

難治性鼻副鼻腔疾患および中耳炎の病気を引き起こす原因に関する研究

1. 研究の対象

鼻副鼻腔疾患の患者さんのうち、2010年4月1日～当機関の長から実施の許可を受けた日までに、当院にて手術あるいは病理学的検査を受けたことのある18歳～85歳までの方

2. 研究目的・方法

本研究は、慢性副鼻腔炎および中耳炎の患者さんを対象として、これら疾患の病態メカニズムを解明することを目的としています。これらの疾患の一部は治療が難しく、再発を繰り返すことが知られていますが、有効な治療法は未だ確立されておらず、病態に関する多くの点が明らかになっていません。そのため、本研究によって新たな知見を得ることを目指します。

具体的には、通常診療（検査や手術）の際に採取され、診断等に使用された後に残った組織を用いて、DNAの配列、タンパク質、代謝産物の解析を行い、病気の兆候や進行状況を反映する指標を明らかにします。これにより、病気の早期発見や重症度の評価が可能となり、適切な時期に治療を開始できることが期待されます。また、こうした解析を通じて病気の成り立ちや原因を探り、慢性的かつ難治性の副鼻腔炎・中耳炎に対する根本的な治療法の開発につなげることを目的とします。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2031年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2025年10月1日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、病理検体番号等

試料：検査や手術で摘出した病理組織、これらのうち病理学的診断が行われた後の余剰検体

4. 外部への試料・情報の提供

病理組織を大阪大学免疫学フロンティア研究センターに提供し、結果を取得します。試料の提供は、個人が特定されないように個人情報加工し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 芦田 直毅

研究分担者

大阪大学免疫学フロンティア研究センター ヒト免疫学 奥崎大介

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

研究責任者 芦田 直毅

大阪府吹田市山田丘 2-2 電話番号：06-6879-3951

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

芦田 直毅